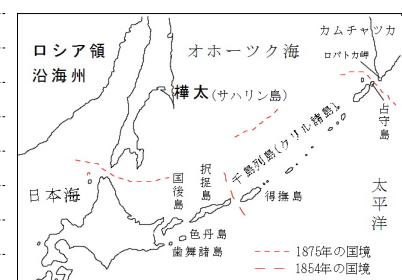
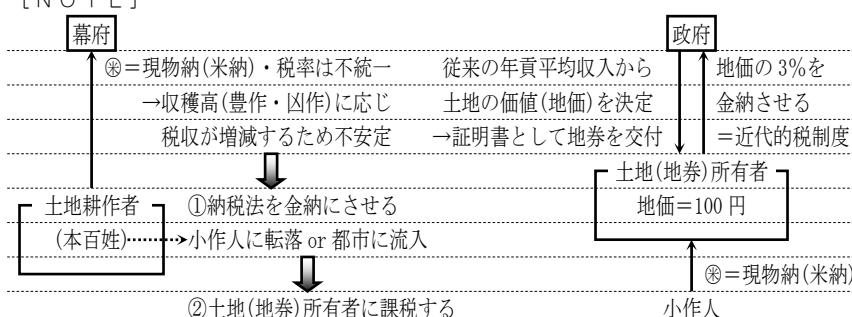


中 央 集 権 化 政 策		身 分 制 度・経 済 政 策
1869年 版籍奉還 (王土王民思想に基づき版(土地)と籍(人民)を天皇に返上) 建議=大久保利通〔薩摩藩士〕・木戸孝允〔長州藩士〕 薩長土肥の4藩主が奉還を申し出、諸藩主もこれにならう →旧藩主は知藩事に任命され、徵税・軍事など藩政にあたる	★旧藩主の家禄 (政府が支給する給与) は旧来の石高の10分の1	1869年 四民平等 (公家・大名→華族・武士→士族・農・工・商→平民)
1869年 官制改革 (太政官(行政)の上位に神祇官(祭祇)を設置)		1871年 身分解放令 (えた・非人の称を廃止し、新平民とする)
1871年 廃藩置県 (藩を廃止し、政府直轄領の県を設置) ①薩長土3藩から集めた(御)親兵 (のち近衛兵)の武力を背景に断行 ②知藩事を罷免して東京居住一代わりに府知事・県令を中央から派遣	★3府302県(1871.7)→3府72県(1871.11)→3府43県(1888)	1871年 戸籍法 (戸籍作成を全国的に統一する) →壬申戸籍(1872) (最初の全国的統一戸籍として作成)
1871年 官制改革 (神祇官を廃止し、三院(正院・左院・右院)を設置)		1871年 新貨条例 (伊藤博文の建議で統一的貨幣制度を確立) ①円・銭・厘の10進法
1872年 徴兵告諭 (徴兵令の意図を説明) →血税一揆 (徴兵に反対して起きた農民一揆) 「西人コレヲ称シテ血稅トイフ」を誤解する	★3府302県(1871.7)→3府72県(1871.11)→3府43県(1888)	1872年 金本位制 (建前上) の採用 貿易のため開港場に限り貿易銀 (1円銀貨) の通用を認める
1873年 徴兵令 (満20歳以上の男子に3年間の兵役義務) 構想=大村益次郎〔長州藩士〕 実現=山県有朋〔長州藩士〕 理念=国民皆兵 ★免役規定 (官吏・官立学生・戸主・嗣子・代人料270円納入者)		1872年 国立銀行条例 (渋沢栄一の尽力) ①アメリカのナショナル=バンクの制度を参考 ②銀行に紙幣発行権を与えるが、紙幣の正貨兌換を義務づける →1873年の第一国立銀行 (頭取=渋沢栄一) を含め4行が設立 ★出資=三井組・小野組 (→小野組と島田組は1874年に破産)
1871年 田畠勝手作りの許可 1872年 田畠永代売買の解禁 →土地所有者に地券を交付 (土地所有権が明確化される)	[地租改正 (財源の安定と近代的税制確立のため)]	1873年 秩禄奉還の法 希望者に秩禄公債と現金で数年分を一括支給 ★廃藩置県後も政府が華族・士族に支給していた 秩禄 (家禄・賞典禄) が政府歳出の30%を占める
1873年 地租改正条例 (地租改正は1881年までにほぼ完了) 不安定な収穫による土地耕作者の現物納を改めて (税率は不統一), 地価の3%の地租を土地(地券)所有者に金納させる (小作料は現物納)		1876年 秩禄処分 (金禄公債証書発行条例) 華族・士族への秩禄の支給を廃止し、秩禄受給者に もとの禄高に応じて支給額の5~14年分を公債で支給 →公債は5年間の据え置きで年利5~7%を支給する
★政府は従来の年貢による収入を減らさぬ方針で地租を決定 ★所有権が不明な入会地 (山野などの共同利用地) は官有地へ編入		1876年 廃刀令 (軍人・警官以外の帯刀を禁止)
1876年 地租改正反対一揆 (茨城・三重・愛知・岐阜・堺で発生)		1876年 国立銀行条例改正 (紙幣と正貨兌換義務を削除) →153行の国立銀行設立(1879) ★金禄公債証書を銀行設立の資本金とする特例を認める
1877年 地租を2.5%に軽減 ★「竹槍でドンと突き出す二分五厘」		

日清・日朝関係	周辺地域
	1869年 蝦夷地を北海道と改称 →開拓使(北海道の開発・行政機関)設置 [北海道開拓事業]
1871年 日清修好条規(全権=伊達宗城〔宇和島藩主〕・李鴻章) ①協定開港制の相互承認・②領事裁判権の相互承認・③最惠待遇条款はなし	1872年~開拓10年計画 ケプロン(米人)によるアメリカ式大農業法の導入 札幌農学校(高等農業教育機関→のち北大) 建議=ケプロン/初代教頭=クラーク(米人) 卒業生=内村鑑三『万朝報』記者・無教会主義 新渡戸稻造『武士道』・国連事務局次長 ★札幌バンド(キリスト教信徒集団)
1871年 岩倉使節団派遣(目的=條約改正の予備交渉と欧米の制度・文物の視察) 大使=岩倉具視(右大臣) 副使=大久保利通・木戸孝允・伊藤博文・山口尚芳 随行=久米邦武『米歐回覧実記』(隨行記) 留学生=津田梅子(女子英学塾を創設)・山川捨松(大山巖の妻)	1874年 屯田兵制度(建議=黒田清隆[開拓次官]) 士族授産の一環で、北海道開拓と北方警備にあたる
[留守政府(1871~73)] 西郷隆盛(薩摩)・板垣退助(土佐) ↓ 征韓論(朝鮮が開国を拒否した場合は武力行使) →西郷隆盛の朝鮮への使節派遣を決定	[琉球帰属問題(琉球は薩摩藩・清の日中両属体制)] 1871年 琉球漂流民殺害事件 琉球の漂流民が台湾で現地住民に殺害される →清国は台湾を「化外の地」として責任を負わず
1873年 岩倉使節団帰国→内治優先論(国内の整備を優先して征韓論に反対) 1873年 明治六年の政変(征韓論を却下された征韓派が一斉に下野) 西郷隆盛・板垣退助・後藤象二郎・江藤新平・副島種臣らが参議を辞任	1872年 琉球藩の設置(琉球王国を廢止して設置) 藩王=尚泰 (1879年 琉球処分(琉球藩を廢止して沖縄県を設置)) ↓ (1879年 グラント〔前米大統領〕の先島分島案) 清国に宮古島・八重山諸島を譲る案→清国が拒否
1874年 征台の役(台灣出兵)(指揮=西郷従道) →これに反対した木戸孝允が参議を辞任(政府を下野) 1874年 日清互換条款(ウェード〔駐清英公使〕の調停で清国が賠償金を払い解決)	[国境画定] (1855年 日露和親条約(全権=川路聖謨) 国境は択捉島・得撫島の間(樺太は両国雑居) ↓ 1875年 樺太・千島交換条約(全権=榎本武揚) 国境は樺太全島(ロシア領)・千島全島(日本領) 1876年 小笠原諸島領有宣言(米・英に領有を宣言) 内務省の管轄下→のち、東京府の管轄下(1880)
1875年 江華島事件(日本軍艦雲揚が挑発行為を行い、砲撃を受けたため占領) ↓ 1876年 日朝修好条規(朝鮮との日本有利な不平等条約) 全権=黒田清隆・井上馨 ①朝鮮を「自主の国」として清国との宗属関係を否定 ②釜山・仁川・元山の開港 ③日本の領事裁判権・関税免除の承認	元山 仁川 江華島 釜山 ↓ [ NOTE ]

## [NOTE]



中央集権化政策		身分制度・経済政策	
年 _____ (_____に基づき(土地)と(人民)を天皇に返上) 建議=_____〔薩摩藩士〕・_____〔長州藩士〕 薩長土肥の4藩主が奉還を申し出、諸藩主もこれにならう →旧藩主は_____に任命され、徵税・軍事など藩政にあたる		1869年 四民平等(公家・大名→_____・武士→_____・農・工・商→_____)	
↓ 1869年 官制改革(太政官(行政)の上位に_____〔祭祇〕を設置)		↓ 1871年 _____(えた・非人の称を廃止し、新平民とする)	
年 _____(藩を廃止し、政府直轄領の県を設置) ①薩長土3藩から集めた_____ (のち_____) の武力を背景に断行 ②_____を罷免して東京居住→代わりに_____・_____を中央から派遣		1871年 _____(戸籍作成を全国的に統一する) →_____ (1872)(最初の全国的統一戸籍として作成)	
↓ 1871年 官制改革(_____を廃止し、_____・_____・_____を設置) ★府 県(1871.7)→府 県(1871.11)→府 県(____年)		年 _____(_____の建議で統一的貨幣制度を確立) ①_____・_____の_____進法	
年 _____(徴兵令の意図を説明) →_____ (徴兵に反対して起きた農民一揆) 「西人コレヲ称シテ_____トイフ」を諱解する		②_____ (建前上)の採用 貿易のため開港場に限り_____ (1円銀貨)の通用を認める	
↓ 年 _____(満20歳以上の男子に3年間の兵役義務) 構想=_____〔長州藩士〕 実現=_____〔長州藩士〕 理念= ★免役規定(官吏・官立学生・戸主・嗣子・_____270円納入者)		年 _____(_____の尽力) ①_____の_____の制度を参考 ②銀行に紙幣発行権を与えるが、紙幣の_____兌換を義務づける →_____年の_____ (頭取=_____) を含め_____行が設立 ★出資=_____組・_____組(→_____組と_____組は1874年に破産)	
年 _____ [_____ (財源の安定と近代的税制確立のため)] 年 _____ →土地所有者に_____を交付(土地所有権が明確化される)		[士族の特権廢止] 1873年 希望者に秩禄公債と現金で数年分を一括支給 ★廃藩置県後も政府が華族・士族に支給していた 秩禄(____・____)が政府歳出の____%を占める	
年 _____(地租改正は____年までにほぼ完了) 不安定な_____による土地耕作者の_____を改めて(税率は不統一), _____の%の地租を土地(地券)所有者に_____させる(小作料は現物納)		年 _____(_____発行条例) 華族・士族への秩禄の支給を廃止し、秩禄受給者に もとの祿高に応じて支給額の5~14年分を_____で支給 →公債は5年間の据え置きで年利5~7%を支給する	
★政府は従来の年貢による収入を減らさぬ方針で地租を決定 ★所有権が不明な_____ (山野などの共同利用地)は官有地へ編入		年 _____ (軍人・警官以外の帶刀を禁止)	
↓ 1876年 _____(____・____・____・____で発生)		年 _____ 改正(紙幣と_____兌換義務を削除) →_____行の国立銀行設立(____年)	
↓ 1877年 地租を_____%に軽減 ★「竹槍でドンと突き出す_____」		★金禄公債証書を銀行設立の資本金とする特例を認める	

日清・日朝関係	周辺地域
	年 _____ を北海道と改称 → _____ (北海道の開発・行政機関) 設置 [北海道開拓事業] 1872年～開拓10年計画 _____ (米人) によるアメリカ式大農業法の導入 _____ (高等農業教育機関→のちの北大) 建議= _____ /初代教頭= _____ (米人) 卒業生= _____ (『万朝報』記者・無教会主義) 〔『_____』・國連事務局次長〕 ★ _____ (キリスト教信徒集団) 1874年 _____ 制度 (建議= _____ [開拓次官]) 士族授産の一環で、北海道開拓と北方警備にあたる
年 _____ (全權= _____ [宇和島藩主]・_____) ①協定開港制の相互承認・②領事裁判権の相互承認・③最恵国待遇条款はなし 年 岩倉使節団派遣 (目的=條約改正の予備交渉と欧米の制度・文物の視察) 大使= _____ [_____ 副使= _____ · _____ · _____ · _____ 隨行= _____ 『_____』(隨行記) 留学生= _____ (_____を創設) · _____ (大山巌の妻)	[琉球帰属問題 (琉球は薩摩藩・清の日中両属体制)] 1871年 _____ 琉球の漂流民が台湾で現地住民に殺害される →清国は台湾を「化外之地」として責任を負わず 年 _____ の設置 (琉球王国を廢止して設置) 藩王= _____ (____年 _____ (琉球藩を廢止して沖縄県を設置)) 軍隊・警察を派遣し廢藩置県を断行→清国が抗議 (1879年 _____ [前米大統領] の _____ ) 清国に宮古島・八重山諸島を譲る案→清国が拒否
年 岩倉使節団帰国→ _____ (国内の整備を優先して征韓論に反対) 年 _____ (征韓論を却下された征韓派が一斉に下野) _____ · _____ · _____ · _____ · _____ らが参議を辞任	[国境画定] 1855年 _____ (全權=川路聖謨) 国境は _____ 島・ _____ 島の間 ( _____ は両国雑居) 年 _____ (全權= _____ ) 国境は _____ 全島 (ロシア領) · _____ 全島 (日本領) 1876年 _____ 領有宣言 (米・英に領有を宣言) _____ の管轄下→のち、 _____ の管轄下 (1880)
年 _____ (指揮= _____ ) ← →これに反対した _____ が参議を辞任 (政府を下野) 1874年 _____ ( _____ [駐清英公使] の調停で清国が賠償金を払い解決) 年 _____ (日本軍艦 _____ が挑発行為を行い、砲撃を受けたため占領) 年 _____ (朝鮮との日本有利な不平等条約) 全權= _____ · 井上馨 ①朝鮮を「自主の国」として清国との宗属関係を否定 ② _____ · _____ の開港 ③日本の領事裁判権・関税免除の承認	1855年 _____ (全權=川路聖謨) 国境は _____ 島・ _____ 島の間 ( _____ は両国雑居) 年 _____ (全權= _____ ) 国境は _____ 全島 (ロシア領) · _____ 全島 (日本領) 1876年 _____ 領有宣言 (米・英に領有を宣言) _____ の管轄下→のち、 _____ の管轄下 (1880)

## [NOTE]

